

8-1-2 道路会社業務検討WG (NEXCO)

1. 道路会社業務検討WGの概要

(1) 道路会社業務検討WGの活動目的

高速道路会社との意見交換をより実効化、具体化するために設置された、双方の実務者からなる実務者検討会の運営を主な活動としている。

(2) WGの構成

WGは東日本・中日本・西日本の各高速道会社業務検討チームで構成され、各チームは本部委員と支部委員で構成されている。

各高速道路会社との実務者検討会は、協会側メンバーと道路会社側メンバーで構成され、業務に関する具体的課題解決に取り組んでいる。

2. 主な活動の記録

平成27年度の意見交換会での課題、およびアンケート調査から抽出した新たな課題に取り組んだ。具体的には施工管理、設計、大規模更新・修繕、設計、積算である。

(1) 東日本高速道路会社

5回の実務者検討会とその準備会を開催した。検討課題、成果は以下のとおりである。

a) 施工管理

NEXCOと協会合同の施工管理業務アンケート調査(上記アンケートとは別)を実施、その結果に基づき仕様書が2月に改定された。(中、西は7月予定)改定内容は、資格、費用、配置の改善である。(3社共通)

b) 積算

長年にわたり改定されていなかった設計歩掛が改定されることになった。道路設計の歩掛は平成29年7月、構造物は平成30年7月をめざし改定が行われることになり、協会として歩掛調査に協力することになった。(3社共通)

c) 大規模更新・修繕

設計施工管理一体型の試行に向けた検討を行った。(3社共通)

d) 入札

他2社との実績評価点の開差について改善される見通しとなった。

(2) 中日本高速道路会社

6回の実務者検討会とその準備会を開催した。検討課題、成果は以下のとおりである。

a) 入札

調査基準価格が公表されることになった。また、総合評価の低落札率についての改善提案を行った。

b) 積算

見積歩掛の公表などの課題に取り組んだ。

c) 大規模更新・修繕

施工業者が主体となる方式が採用されつつあるが、設計施工管理一体型についても導入を提案した。

d) 施工管理

実費と契約額の差額解消のため、人員配置(格)は受注者提案による契約に変更された。

(3) 西日本高速道路会社

5回の実務者検討会とその準備会を開催した。検討課題、成果は以下のとおりである。

a) 入札

最低基準価格制度が導入された。

b) 設計変更ガイドライン

第一回目の改定が行われ、今後も継続的に改定が行われる予定である。また、NEXCO社内での普及を目指し小冊子が作成された。

c) 設計施工管理一体型

耐震補強においても当該方式での試行が開始された。

d) 施工管理

3か月条項が廃止された。また、CM方式の検討を始めることになった。

3. 次年度の活動について

次年度は、設計施工管理一体型の試行拡大、低入札対策、更なる施工管理制度改革、積算、設計変更ガイドラインの改定などを目標に実務者検討会のより一層の活性化を図るとともに、意見交換会の「提案と要望」作成への関与を強め、道路会社業務の改善を図っていく。

(道路会社業務検討WG (NEXCO) WG長
岡村 秀樹)